

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ  
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－加算配付用】

## 令和元年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】実施報告書(選定校記載用)

(校園コード 661450 )

※校園コードを入力してください。

学校名 東小橋小学校

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 200,000 円 → 決算額 199,920

2 自校の現状・課題(※小・中学校においては、学力課題に限定)

平成30年度の全国学力学習状況調査では、平均正答率を全国平均と比較すると、国語Aは10.7ポイント、国語Bは8.7ポイント、算数Bは7.5ポイント、理科は9.3ポイント下回っている。しかし、算数Aについては、全国平均を2.5ポイント、市平均を4ポイント上回っている。結果の考察として、国語はもとより算数においても読み取ることが大切であると認識した。読むことの領域の正答率が極端に低いので、読み取る力をつけるための読書の質と量を増やすと共に授業展開を研究し、学力向上を図る必要がある。

3 年度目標(※小・中学校においては、学力向上の目標を記載すること)

小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる

目標に対する達成状況(取組完了時)

小学校学力経年調査における標準化得点の同一母集団で前年度との比較については以下のとおりである。4年生は国語が－0.2ポイント、社会が－1ポイント、算数が＋1.7ポイント、理科が－5となった。5年生は国語が－2ポイント、社会が－0.9ポイント、算数が－3.6ポイント、理科が－4.8となった。6年生は国語が－1.1ポイント、社会が－5.3ポイント、算数が－1.8ポイント、理科が－3.8となった。同一母集団で比較し、前年度より向上したのは4年生の算数の＋1.7ポイントだけだった。

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

取組内容① 【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上の取組】

○学習過程を質的に改善し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業を進める。

取組内容②

○学年に応じた家庭学習の時間を設定し、学校で学んだことを家庭において定着できるように自らすすんで学習できる子どもを育成する。

5 年度目標に応じた事業効果を測る指標(期待する効果等)

指標・学校生活アンケートの①「勉強をがんばっている」、②「国語や算数の学習で登場人物の気持ちを

指標に対する達成状況(取組完了時)

① 児童アンケートの結果は以下のとおりである。質問①「勉強をがんばっている」、(令和元年度89%)、質問②「国語や算数の学習で登場人物の気持ちを読み取ったり、問題の解き方を考えたりしている。」(令和元年度84%)、質問③「漢字や計算を練習して、できるようになってきている。」(令和元年度94%) 質問④「音楽や体育などいろいろなことに挑戦してできるようになっている。」(令和元年度94%) 4つの質問のうち、3つが質問85%以上の肯定的回答を得られた。質問②は85%に届かなかったものの84%と高い数値を示した。

達成

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 年間スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き				集団読書指導				
効果検証	■ ↑ 読解力調査		■	■	■	■	■ ↑ 経年調査	■ ↑ 感想発表会	■ ↑ 読解力調査

【裏面に続く⇒】

取組

1

(校園コード 661450 )  
学校名 東小橋小学校

## 7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】		委員会使用欄	達成
<b>【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上の取組】</b> 各学年に応じた図書を選定し、学級の全員が同じ本を同時に読み進めていく中で、読書カードを活用し子ども一人ひとりの感想の豊かさや読み取りの力を育成する。また、読書発表会を全校で実施しプレゼンテーション能力の育成を図る。 =IF(ISBLANK('実施計画(7月)'!C73:AA76),"","'実施計画(7月)'!C73:AA76)			B
予算内訳 図書購入(11-1 消耗品費) 1年 贈る詩 @1,700×18=30,600 2年 シャベる詩 遊ぶ詩 聞こえる詩 @2,080×23=47,840 3年 チョコレート戦争 @1,130×31=35,030 4年 火曜日のごちそうはヒキガエル @1,040×33=34,320 5年 気まぐれロボット @1,130×31=35,030 6年 5分後に意外な結末 ベストセレクション @ 570×30=17,100			
期待される効果 読むことの領域の正答率が極端に低いので、読み取る力をつけるための読書の質と量を増やすと共に授業展開を研究し、学力向上を図ることにより、学校生活アンケートの①「勉強をがんばっている」、②「国語や算数の学習で登場人物の気持ちを読み取ったり、問題の解き方を考えたりしている。」③「漢字や計算を練習して、できるようになってきている。」、④「音楽や体育などいろいろなことに挑戦できるようになっている。」の肯定的回答を全て 85%以上にする。			

## (2) 取組内容に対する実施スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
取組み	購入手続き					集団読書指導			
効果検証	■ ↑ 読解力調査		■	■	■	■ ↑ 経年調査	■ ↑ 感想発表会	■ ↑ 読解力調査	

## (3) 取組内容に対する中間報告

- ☐ スケジュールどおり実施できている。  
☒ スケジュールにやや遅れがあるが、取組は予定どおり実施できる見込みである。  
☐ スケジュールに大幅な遅れが出ている。(□他責・□自責)  
 [大幅な遅れがある場合]理由及び対処方法(年度末到達目標の修正など)

#REF!

## (4) 取組内容に対する決算内訳

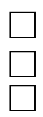
## 決算内訳

1年	贈る詩	@1,700×18=30,600
2年	シャベる詩 遊ぶ詩 聞こえる詩	@2,080×23=47,840
3年	チョコレート戦争	@1,130×31=35,030
4年	火曜日のごちそうはヒキガエル	@1,040×33=34,320
5年	気まぐれロボット	@1,130×31=35,030
6年	5分後に意外な結末 ベストセレクション	@ 570×30=17,100

※取組内容はPDCAサイクルを意識して設定してください。委員会使用欄は空欄としてください。

|

- ☒
- ☐
- ☐



|

- ☐
- ☐
- ☐